

2024年3月期 決算説明資料

2024年5月22日



株式会社 熊谷組



I.2024年3月期決算 財務情報

1.ハイライト	P3
2.決算の概況【連結】	P4
3.単体受注高	P5
4.損益計算書	P9
5.連結子会社の業績	P12
6.完成工事高および完成工事総利益(率)【連結】	P13
7.完成工事高および完成工事総利益(率)(国内)【単体】	P14
8.四半期毎の完成工事高および完成工事総利益(率)の推移【連結】【単体】	P15
9.販売費及び一般管理費、営業利益および経常利益の推移【連結】	P16
10.貸借対照表【連結】	P17
11.自己資本、自己資本比率およびROE【連結】	P19
12.株主還元【連結】(通期ベース)	P20
13.有利子負債【連結】	P21
14.キャッシュ・フロー【連結】	P22
15.設備投資、減価償却費、研究開発費の推移【連結】	P23
16.企業価値向上に向けた取組み(中期経営計画2021～2023)	P24
17.中期経営計画(2024～2026)における株主還元と投資計画	P25

Ⅱ.住友林業との協業

18.住友林業との協業	P26
-------------	----------

Ⅲ.非財務目標の取組み状況

21.ESG取組方針	P29
22.ESG取組方針～重要課題・個別課題～	P30
23.外部からの評価・イニシアチブへの参画	P34

1.ハイライト

- | | |
|---|--|
| 1 | 受注高は増加【単体】 <ul style="list-style-type: none">・国内建築における、複数の再開発案件や大型商業施設案件の受注等により、受注高は増加 |
| 2 | 完成工事高増加、各利益とも増益【連結】 <ul style="list-style-type: none">・単体は建築において、建設コスト上昇により利益率が低下・子会社群は、各社とも業績の改善が進む・単体影響により、連結利益は微増にとどまる |
| 3 | 2025年3月期見通し【連結】 <ul style="list-style-type: none">・国内建築の低採算工事の影響が残るが、期首手持ち工事の増加等により増収・増益の見通し |
| 4 | 株主還元 <ul style="list-style-type: none">・24/3期の配当は130円/株を予定・20億円の自己株式取得、消却を実施（中計2021-2023総額100億円）・24/3期の総還元性向は91.6%となる見通し |

2.決算の概況【連結】

(単位:億円)

	A.2023/3期 通期 実績	B.2024/3期 通期 実績	C.2025/3期 通期 予想	B-A 対前年度 増減	C-B 対今期予想 比較
完成工事高	4,035	4,432	4,622	397	190
営業利益	115	126	150	12	24
経常利益	122	130	154	8	24
親会社株主に帰属する 当期純利益	80	83	101	3	18
単体受注高	3,486	3,756	3,480	269	▲276

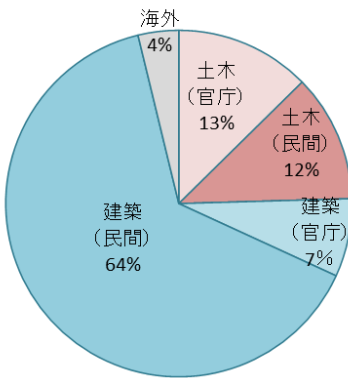
3.単体受注高① 実績と予想

【単体】

				A.2023/3期 通期 実績	B.2024/3期 通期 予想	C.2024/3期 通期 実績	C-A 増減		C-B 増減		D.2025/3期 通期 予想	D-C 増減	
							増減率		増減率			増減率	
国内	官庁		649	730	475	▲ 175	-26.9%	▲ 255	-35.0%		690	215	45.4%
		民間	363	370	448	84	23.2%	78	20.9%		310	▲ 138	-30.7%
	土木		1,013	1,100	922	▲ 91	-9.0%	▲ 178	-16.2%		1,000	78	8.5%
		官庁	347	290	274	▲ 73	-21.0%	▲ 16	-5.5%		200	▲ 74	-27.0%
	民間	2,126	2,160	2,417	292	13.7%	257	11.9%		2,200	▲ 217	-9.0%	
		建築	2,472	2,450	2,691	219	8.9%	241	9.9%		2,400	▲ 291	-10.8%
		3,485	3,550	3,613	128	3.7%	63	1.8%		3,400	▲ 213	-5.9%	
		1	180	142	141	-	▲ 38	-20.9%		80	▲ 62	-43.8%	
	海外												
	受注高		3,486	3,730	3,756	269	7.7%	26	0.7%		3,480	▲ 276	-7.3%

(単位:億円)

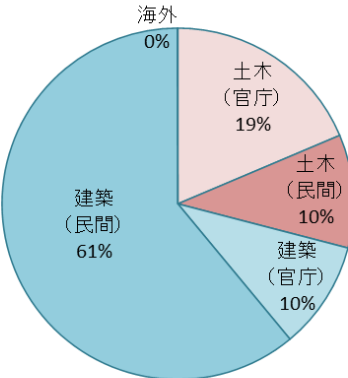
(受注高構成)



2024/3期
実績

【当期に受注した主な工事】

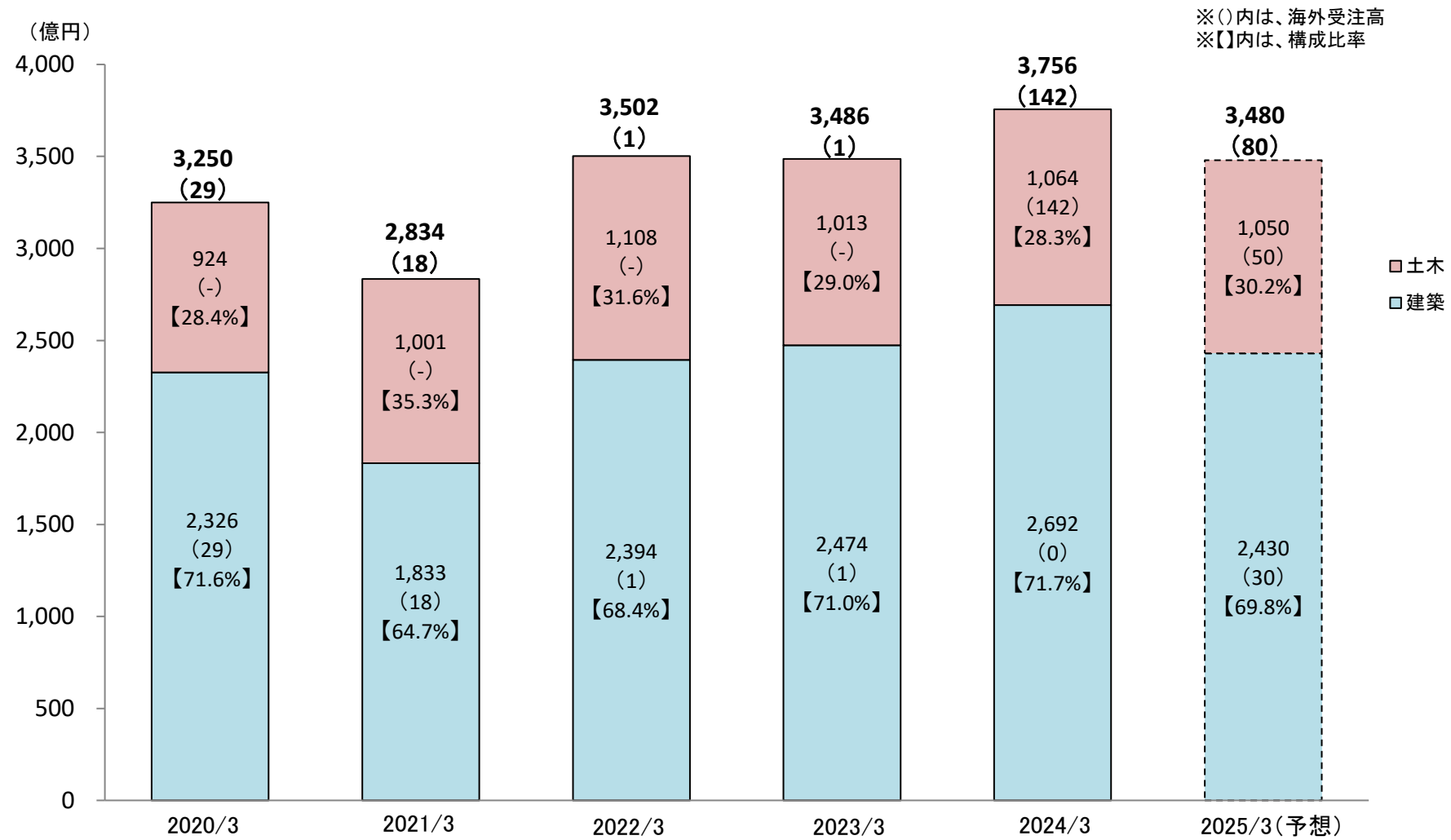
土・建・海外	官民	発注者	工事名	所在地
土木	民間	二枚田風力合同会社	二枚田風力発電所建設工事	福井県
土木	官庁	西日本高速道路株式会社	京都縦貫自動車道 八木中IC~千代川IC間インターチェンジ改良工事	京都府
土木	官庁	西日本高速道路株式会社	徳島自動車道 泉谷川橋他4橋耐震補強工事	徳島県
土木	民間	電源開発株式会社	十津川第二発電所 小井谷揚砂場他新設工事	奈良県
建築	民間	東急不動産株式会社、京浜急行電鉄株式会社、第一生命保険株式会社	(仮称)北仲通北地区B-1地区計画新築工事	神奈川県
建築	民間	三井不動産株式会社	(仮称)安城市大東町商業施設設計画新築工事	愛知県
建築	民間	三田駅前Cブロック地区市街地再開発組合	三田駅前Cブロック地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築等工事	兵庫県
建築	民間	学校法人 獨協学園	獨協医科大学総合教育研究棟(仮称)建設工事	栃木県
海外	官庁	インドネシア共和国	ジャカルタ下水道整備事業(第1区)パッケージ3	インドネシア



2023/3期
実績

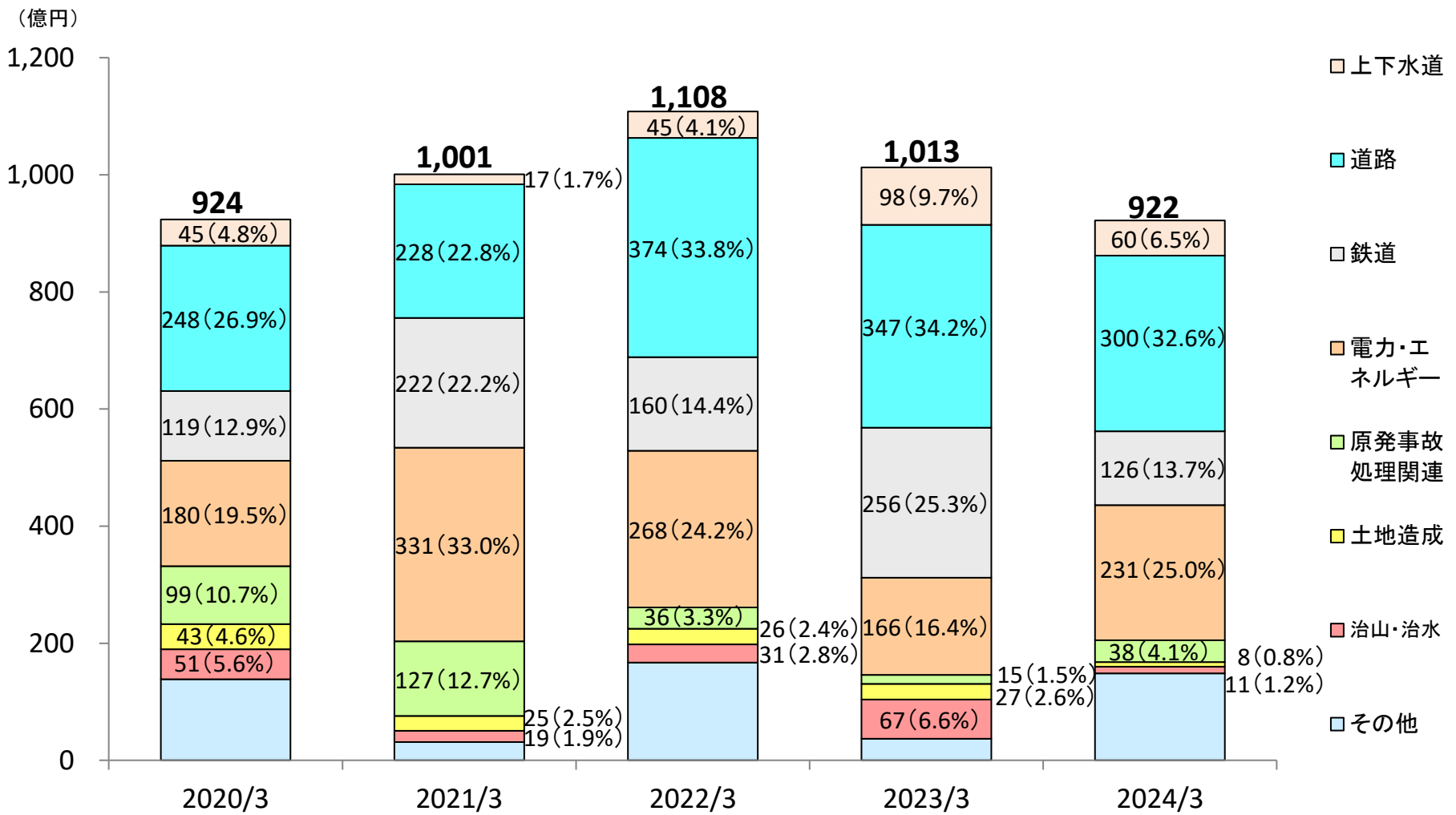
3.単体受注高② 推移

- ・ 24/3期は建築における大型再開発案件の受注などにより、前年より増加
- ・ 25/3期は26/3期以降の業績目標を見据えた受注計画としている



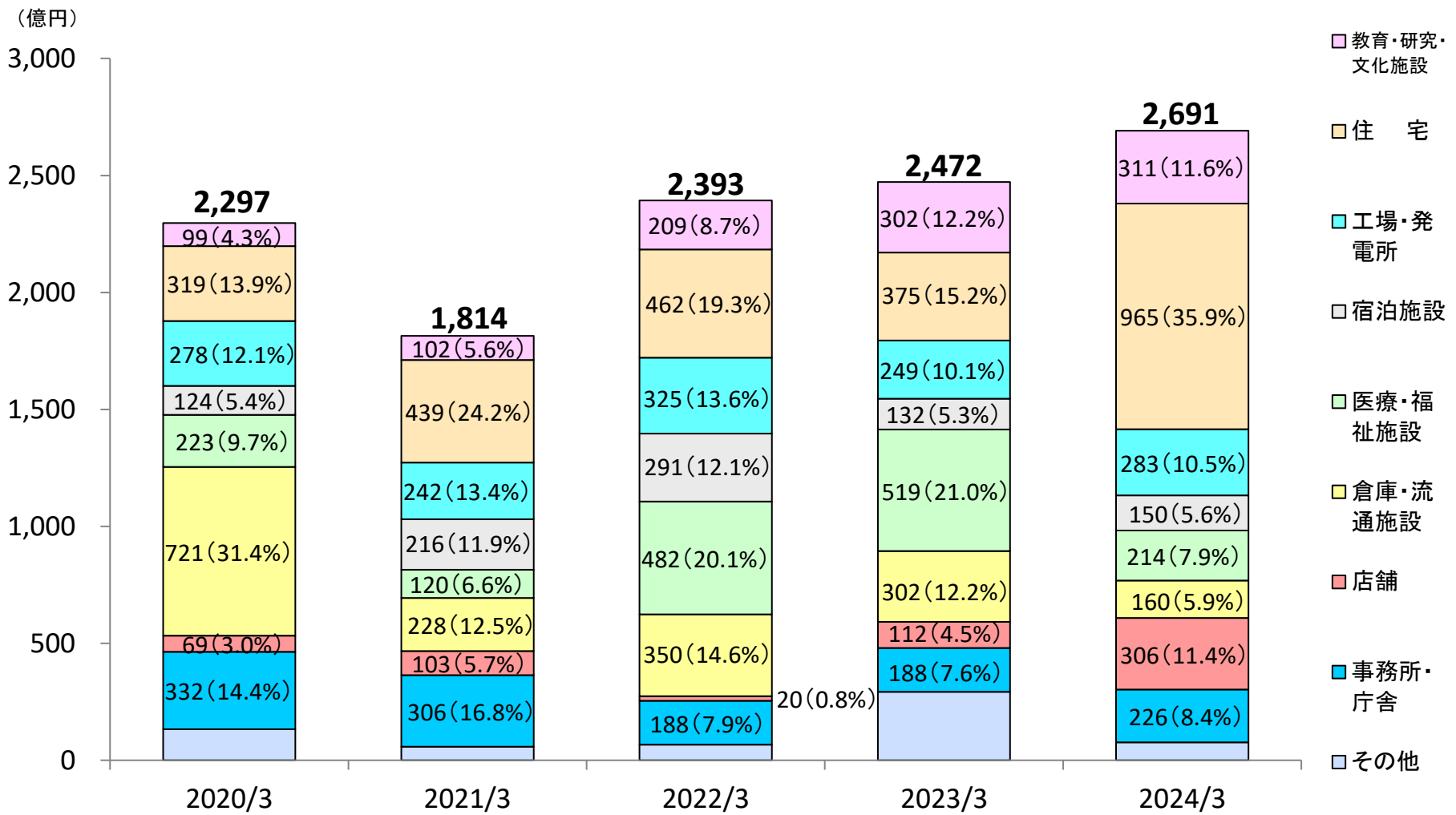
3.単体受注高③ 土木(国内)

- 大型風力案件の受注により電力・エネルギー分野が伸びる
- 官庁工事で大規模案件の受注が少なく、道路分野、鉄道分野などが減少



3.単体受注高④ 建築(国内)

- 複数の大型再開発案件の受注により、住宅分野が大幅に増加
- 大型商業施設案件の受注により、店舗分野も増加



4.損益計算書① 実績と予想【連結】

連結

	A.2023/3期			B.2024/3期			C.2024/3期			C-A				C-B				D.2025/3期			D-C			
	通期 実績			通期 予想			通期 実績			増減			増減率	増減			増減率	通期 予想			増減			増減率
	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等		連結	単体	子会社等		連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	
完成工事高	4,035	2,993	1,042	4,331	3,110	1,221	4,432	3,279	1,153	397	286	111	9.8%	101	169	▲ 68	2.3%	4,622	3,450	1,172	190	171	19	4.3%
完成工事総利益	332	246	87	378	269	109	361	246	114	29	1	28		▲ 17	▲ 23	5		395	284	111	34	38	▲ 3	
(利益率)	8.2%	8.2%	8.3%	8.7%	8.6%	8.9%	8.1%	7.5%	9.9%	-0.1%	-0.7%	1.6%		-0.6%	-1.1%	1.0%		8.5%	8.2%	9.5%	0.4%	0.7%	-0.4%	
一般管理費	217	165	52	226	169	57	234	180	54	17	15	2		8	11	▲ 3		245	188	57	11	8	3	
営業利益	115	80	34	152	100	52	126	66	60	12	▲ 14	26	10.2%	▲ 26	▲ 34	8	-16.8%	150	96	54	24	30	▲ 6	18.6%
(利益率)	2.8%	2.7%	3.3%	3.5%	3.2%	4.3%	2.9%	2.0%	5.2%	0.1%	-0.7%	1.9%		-0.6%	-1.2%	0.9%		3.2%	2.8%	4.6%	0.3%	0.8%	-0.6%	
営業外収益	13	27	▲ 14	11	20	▲ 9	14	22	▲ 9	0	▲ 5	5		3	2	0		11	21	▲ 10	▲ 3	▲ 1	▲ 1	
営業外費用	6	6	▲ 0	6	6	0	10	10	▲ 0	4	4	0		4	4	▲ 0		7	7	0	▲ 3	▲ 3	0	
経常利益	122	102	21	157	114	43	130	79	52	8	▲ 23	31	6.6%	▲ 27	▲ 35	9	-16.9%	154	110	44	24	31	▲ 8	18.1%
(利益率)	3.0%	3.4%	2.0%	3.6%	3.7%	3.5%	2.9%	2.4%	4.5%	-0.1%	-1.0%	2.5%		-0.7%	-1.3%	1.0%		3.3%	3.2%	3.8%	0.4%	0.8%	-0.7%	
特別利益	2	1	1	0	0	0	1	1	0	▲ 1	▲ 0	▲ 1		1	1	0		0	0	0	▲ 1	▲ 1	▲ 0	
特別損失	4	3	1	1	0	1	5	3	2	1	0	1		4	3	1		1	0	1	▲ 4	▲ 3	▲ 1	
税金等調整前当期純利益	120	99	21	156	114	42	126	76	50	6	▲ 23	29	4.7%	▲ 30	▲ 38	8	-19.3%	153	110	43	27	34	▲ 7	21.5%
法人税、住民税及び事業税	37	28	9	49	33	16	49	29	19	12	1	10		▲ 0	▲ 4	3		39	23	16	▲ 10	▲ 6	▲ 3	
法人税等調整額	3	1	2	3	3	0	▲ 6	▲ 7	0	▲ 9	▲ 8	▲ 2		▲ 9	▲ 10	0		13	11	2	19	18	2	
親会社株主に帰属する当期純利益	80	70	10	104	78	26	83	53	30	3	▲ 17	20	4.3%	▲ 21	▲ 25	4	-20.0%	101	76	25	18	23	▲ 5	21.4%
(利益率)	2.0%	2.3%	0.9%	2.4%	2.5%	2.1%	1.9%	1.6%	2.6%	-0.1%	-0.7%	1.7%		-0.5%	-0.9%	0.5%		2.2%	2.2%	2.1%	0.3%	0.6%	-0.5%	

(単位:億円)

【連結子会社 7社】
(株)カイーアート、テクノス(株)、ケーアンドイー(株)、(株)ファテック、テクノスペース・クリエイツ(株)、(株)テクニカルサポート、華熊營造(股)公司（台湾）

【持分法適用会社 3社】
笹島建設(株)、共栄機械工事(株)、(株)前田工務店 g

4.損益計算書② 実績と予想【単体】

【単体】 (単位:億円)

			A2023/3期		B.2024/3期		C.2024/3期		C-A		C-B		D.2025/3期		D-C	
			通期 実績		通期 予想		通期 実績		増減		増減		通期 予想		増減	
			利益率		利益率		利益率		増減率 利益率		増減率 利益率		利益率		増減率 利益率	
	国内	土木	899		900		994		95	10.6%	94	10.5%	1,000		6	0.6%
		建築	2,081		2,200		2,274		193	9.3%	74	3.4%	2,400		126	5.5%
			2,980		3,100		3,268		289	9.7%	168	5.4%	3,400		132	4.0%
	海外	13		10		11		▲ 2	-18.7%	1	7.9%	50		39	363.4%	
	完成工事高		2,993		3,110		3,279		286	9.6%	169	5.4%	3,450		171	5.2%
	国内	土木	85	9.4%	90	10.0%	123	12.4%	38	3.0%	33	2.4%	110	11.0%	▲ 13	-1.4%
		建築	160	7.7%	178	8.1%	122	5.4%	▲ 38	-2.3%	▲ 56	-2.7%	170	7.1%	48	1.7%
			244	8.2%	268	8.6%	245	7.5%	1	-0.7%	▲ 23	-1.1%	280	8.2%	35	0.7%
	海外	1	8.7%	1	10.0%	1	11.4%	0	2.7%	0	1.4%	4	8.0%	3	-3.4%	
	完成工事総利益		246	8.2%	269	8.6%	246	7.5%	1	0.3%	▲ 23	-8.4%	284	8.2%	38	15.3%
		人件費	76		79		84		8		5		90		5	
		物件費	89		90		96		7		6		98		3	
一般管理費		165		169		180		15		11		188		8		
営業利益		80	2.7%	100	3.2%	66	2.0%	▲ 14	-17.7%	▲ 34	-33.8%	96	2.8%	30	45.0%	
営業外収益		27		20		22		▲ 5		2		21		▲ 1		
営業外費用		6		6		10		4		4		7		▲ 3		
経常利益		102	3.4%	114	3.7%	79	2.4%	▲ 23	-22.6%	▲ 35	-31.0%	110	3.2%	31	39.9%	
特別利益		1		0		1		▲ 0		1		0		▲ 1		
特別損失		3		0		3		0		3		0		▲ 3		
税引前当期純利益		99		114		76		▲ 23	-23.4%	▲ 38	-33.3%	110		34	44.7%	
法人税、住民税及び事業税		28		33		29		1		▲ 4		23		▲ 6		
法人税等調整額		1		3		▲ 7		▲ 8		▲ 10		11		18		
当期純利益		70	2.3%	78	2.5%	53	1.6%	▲ 17	-24.1%	▲ 25	-31.9%	76	2.2%	23	43.1%	

4.損益計算書③ 営業外損益および特別損益の内訳【連結】

営業外損益の状況(連結) (単位: 億円)

		A.2023/3期 通期 実績			B.2024/3期 通期 実績			B-A 増減		
		連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等
	受取利息配当金	8.5	23.9	▲ 15.4	9.4	20.0	▲ 10.6	0.9	▲ 3.9	4.7
	持分法による投資利益	1.5	-	1.5	1.7	-	1.7	0.2	-	0.2
	為替差益	1.6	1.5	0.1	1.1	0.9	0.2	▲ 0.5	▲ 0.6	0.1
	その他	1.9	1.8	0.2	1.6	1.4	0.2	▲ 0.3	▲ 0.4	0.0
	営業外収益 計	13.5	27.2	▲ 13.7	13.8	22.3	▲ 8.6	0.3	▲ 4.8	5.1
	支払利息	2.1	2.3	▲ 0.2	3.8	4.3	▲ 0.5	1.7	2.0	▲ 0.3
	債権売却損	0.2	0.2	-	0.4	0.4	-	0.2	0.2	-
	シンジケートローン手数料	2.1	2.1	-	2.7	2.7	-	0.6	0.6	-
	投資事業組合運用損	0.9	0.9	-	1.2	1.2	-	0.3	0.3	-
	その他	0.6	0.5	0.1	1.7	1.3	0.4	1.1	0.8	0.3
	営業外費用 計	6.0	6.1	▲ 0.1	9.9	9.9	▲ 0.1	3.9	3.8	0.0

特別損益の状況(連結) (単位: 億円)

		A.2023/3期 通期 実績			B.2024/3期 通期 実績			B-A 増減		
		連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等
	固定資産売却益	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	▲ 0.0	0.0
	会員権売却益	0.8	0.8	0.0	0.0	-	0.0	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 0.0
	受取損害賠償金	0.8	-	0.8	0.7	0.7	-	▲ 0.1	0.7	▲ 0.8
	その他	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-	▲ 0.0	▲ 0.0	-
	特別利益 計	1.7	0.8	0.9	0.8	0.7	0.1	▲ 0.9	▲ 0.1	▲ 0.8
	固定資産除却損	0.4	0.0	0.4	0.2	0.0	0.2	▲ 0.3	▲ 0.0	▲ 0.2
	関係会社株式評価損	-	-	-	0.5	-	0.5	0.5	-	0.5
	貸倒引当金繰入額	-	-	-	0.3	-	0.3	0.3	-	0.3
	損害賠償金	0.9	0.9	-	3.1	3.1	-	2.2	2.2	-
	訴訟関連損失	0.2	0.2	-	0.0	0.0	-	▲ 0.2	▲ 0.2	-
	子会社創立周年記念関連費用	-	-	-	0.8	-	0.8	0.8	-	0.8
	感染症対策費用	0.4	0.3	0.1	-	-	-	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.1
	加算税等	1.6	1.6	-	-	-	-	▲ 1.6	▲ 1.6	-
	その他	0.3	0.2	0.0	0.4	0.2	0.2	0.2	▲ 0.0	0.2
	特別損失 計	3.7	3.2	0.5	5.2	3.3	1.9	1.5	0.1	1.4

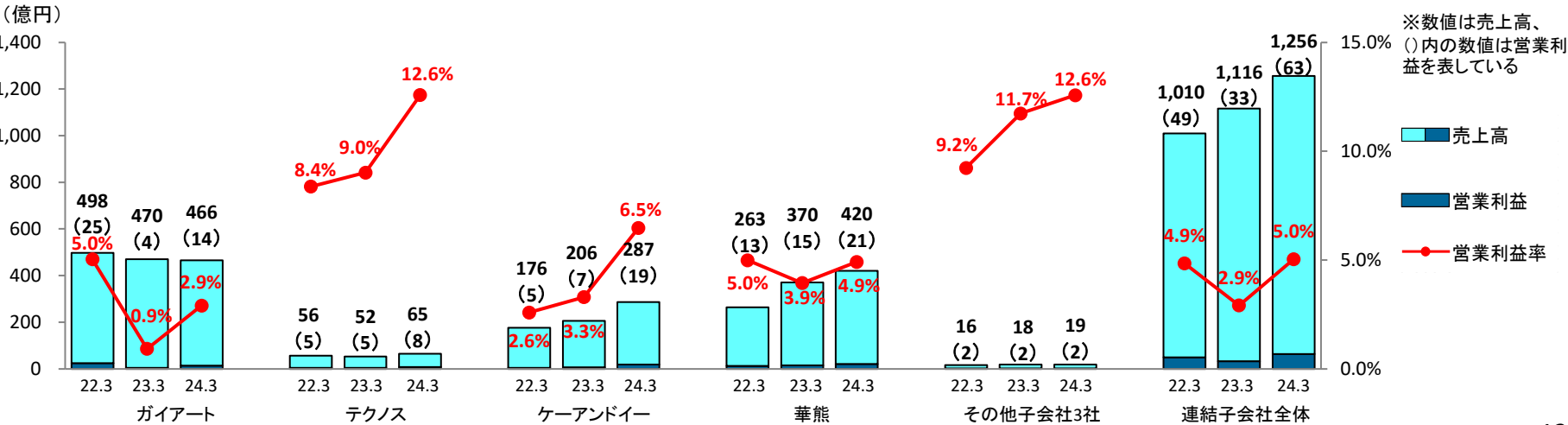
5.連結子会社の業績

- ・ 期首手持ち工事の増加や大型案件の受注等により売上高が増加
- ・ 各社とも利益率の改善が進み、子会社群全体で増収・増益となる

連結子会社の業績 ※ グループ間売上相殺等の連結調整前 (単位: 億円)

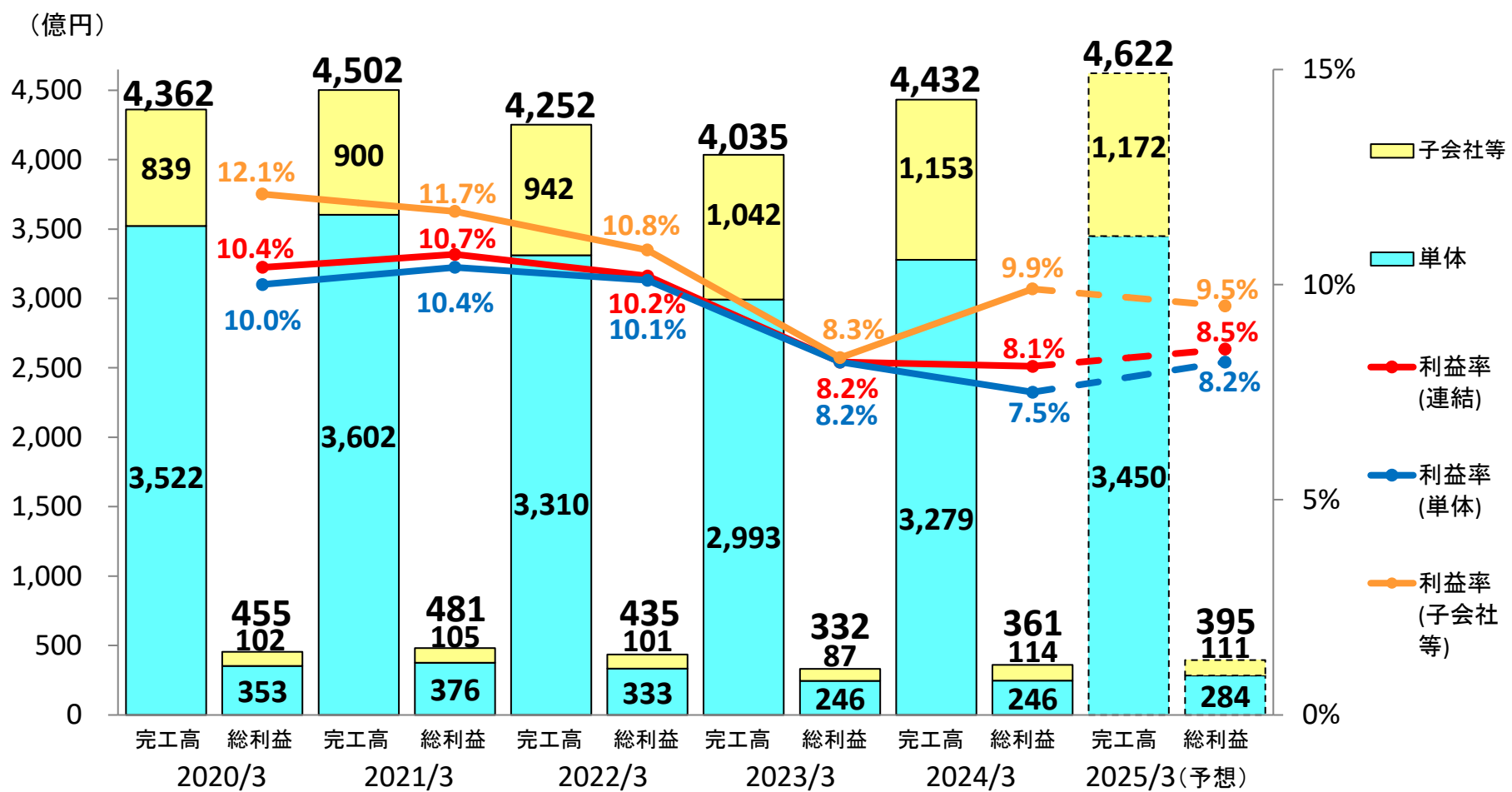
	株式会社ガイアート			テクノス株式会社			ケーアンドイー株式会社		
	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
売上高	498	470	466	56	52	65	176	206	287
営業利益	25	4	14	5	5	8	5	7	19
経常利益	25	5	14	5	5	8	5	7	19
当期純利益	16	2	8	3	4	6	3	5	12

	華熊營造股份有限公司(台湾)			その他子会社3社			連結子会社合計		
	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
売上高	263	370	420	16	18	19	1,010	1,116	1,256
営業利益	13	15	21	2	2	2	49	33	63
経常利益	13	15	21	2	2	2	49	33	65
当期純利益	10	11	16	1	1	2	34	23	44



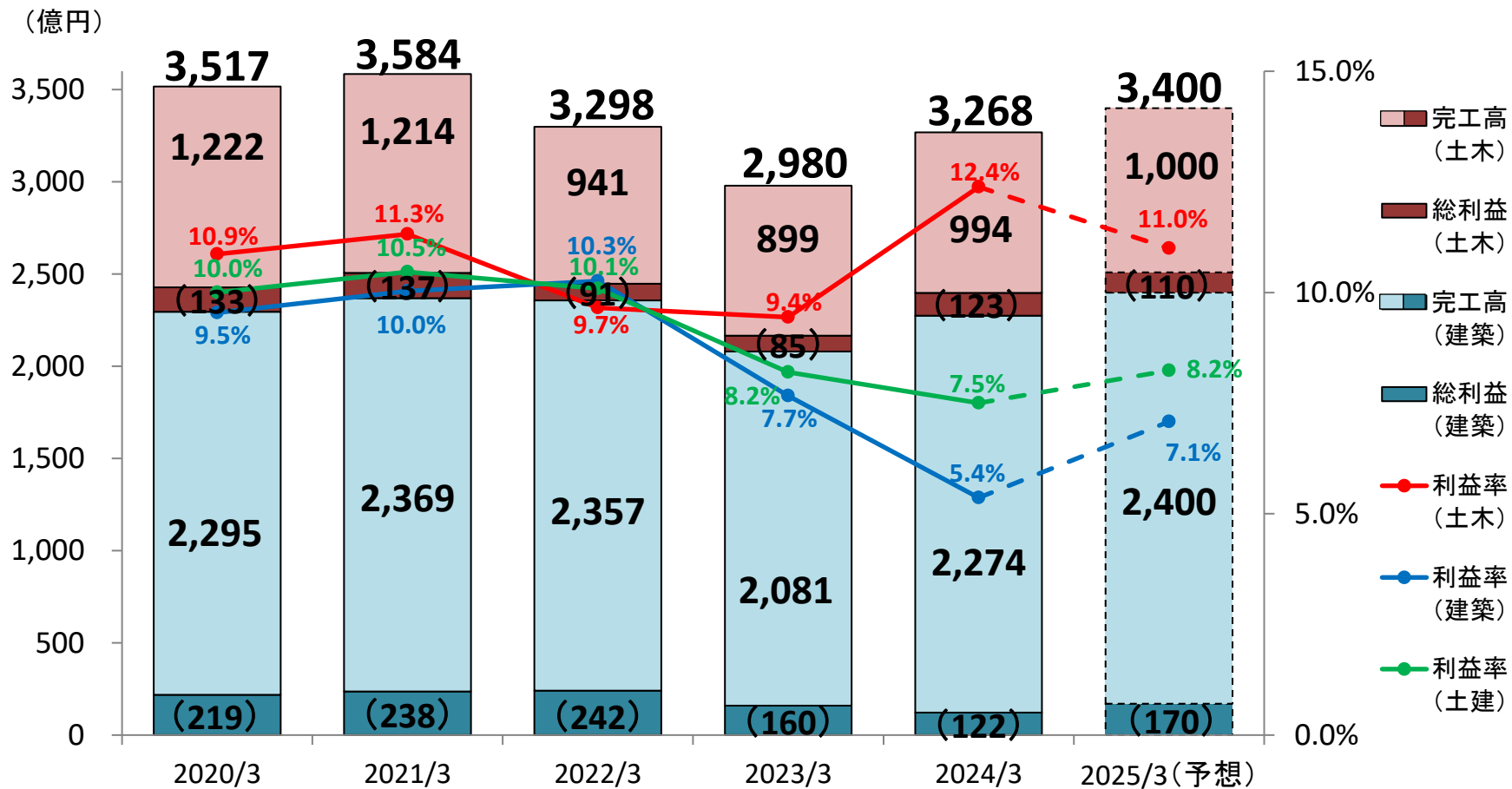
6.完成工事高および完成工事総利益(率)【連結】

- ・ 24/3期は単体影響により利益率は低下したが、売上の増加や子会社の利益改善により増益
- ・ 25/3期は期首手持ち工事の増加、単体利益率の改善により増収増益の見通し

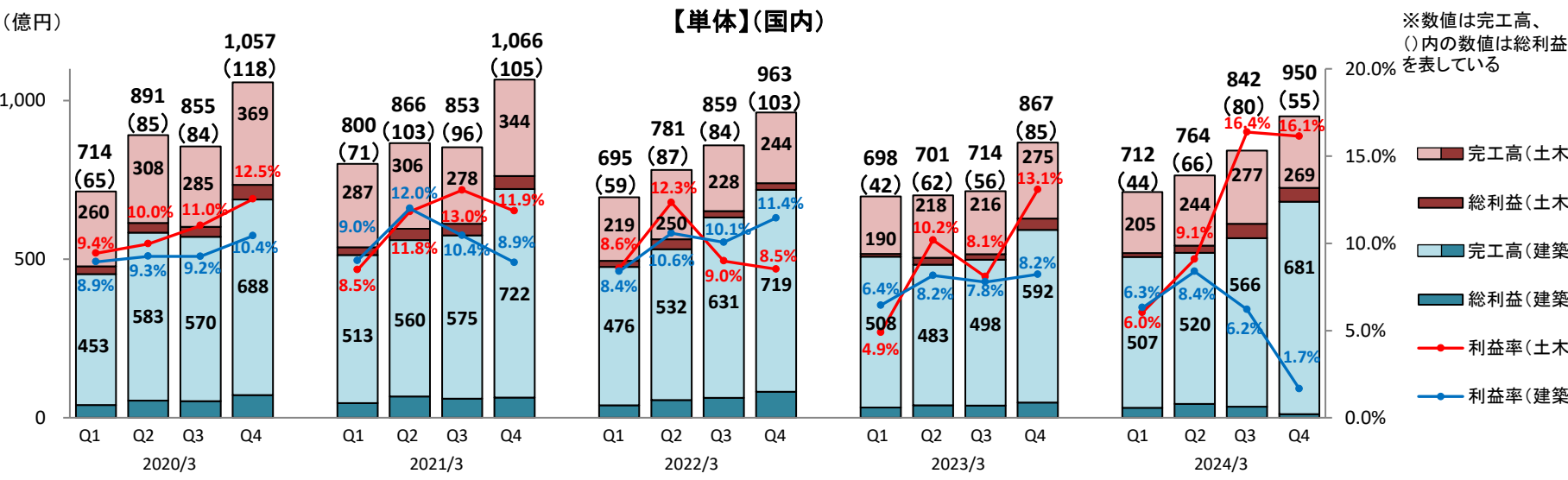
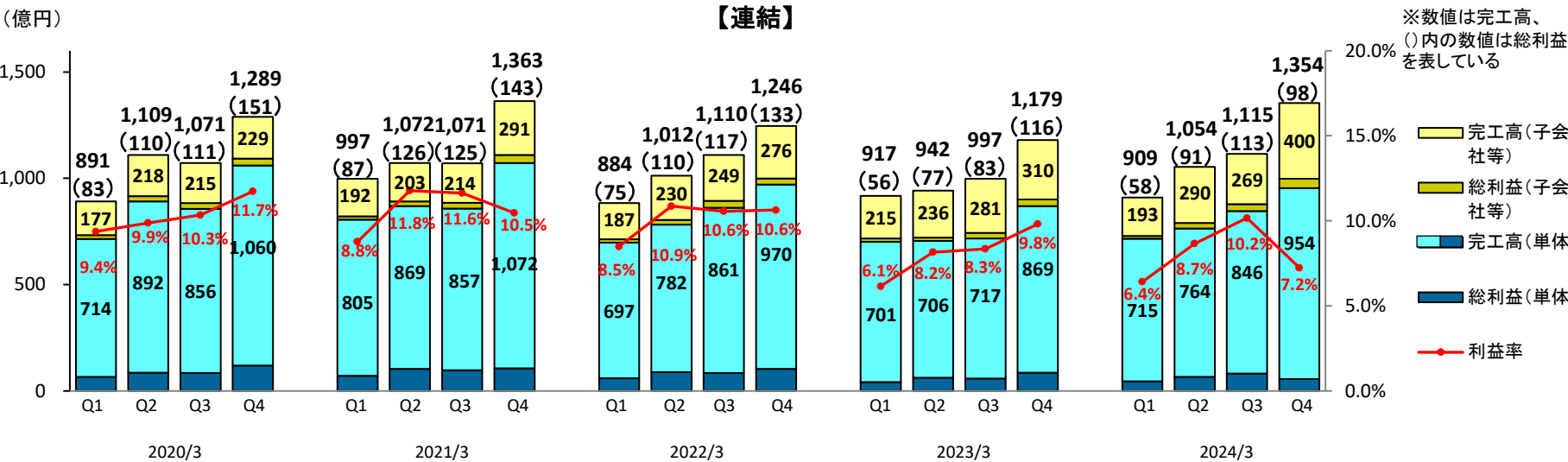


7.完成工事高および完成工事総利益(率)(国内)【単体】

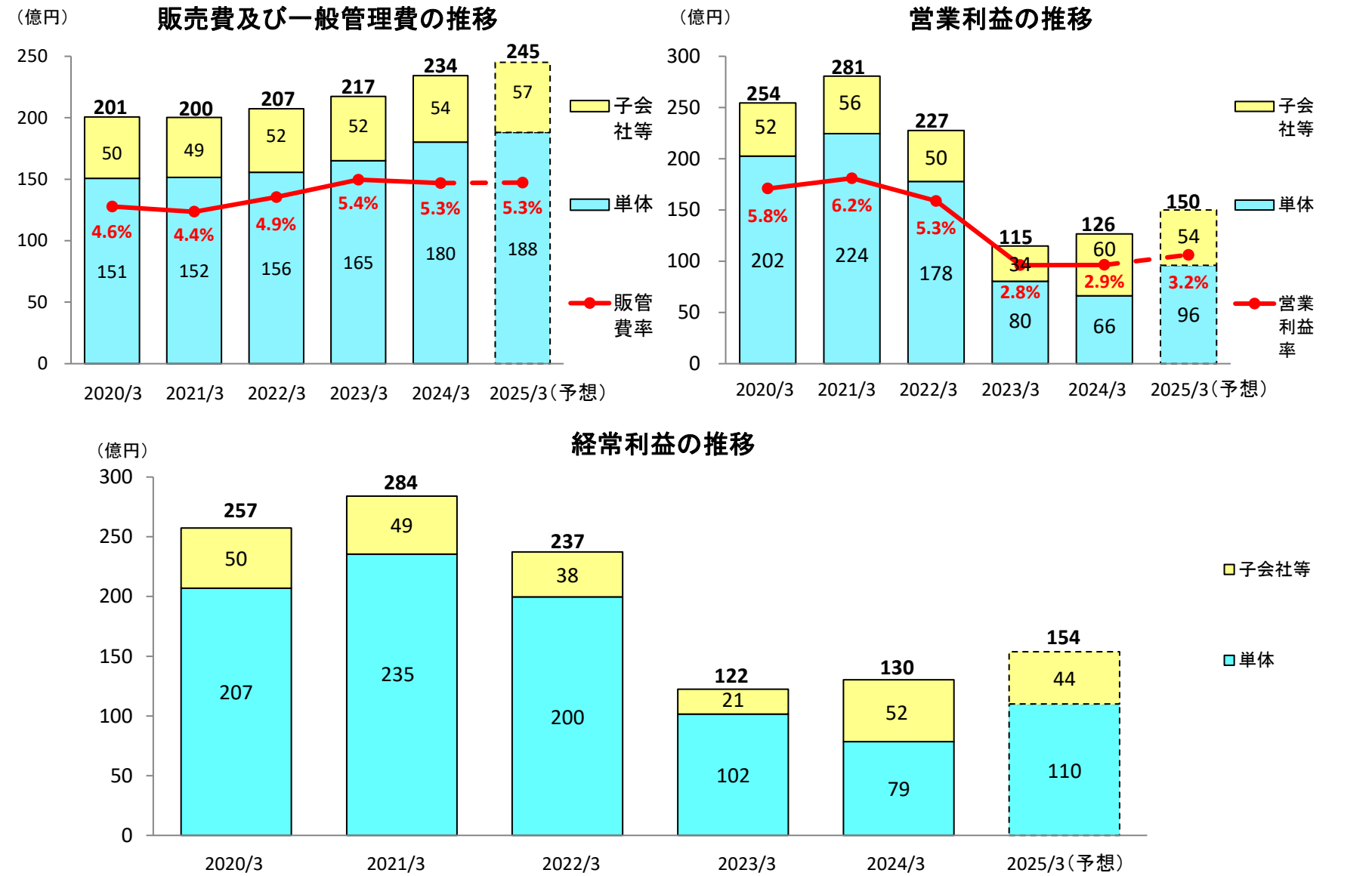
- 土木の利益率は、設計変更の獲得による大幅な利益改善等により良化
- 建築は、複数の大型工事における想定以上の物価上昇等により採算が悪化
- 25/3期は、建築低採算工事の影響は残るが、期首手持ち工事の増加により増収・増益の見通し



8.四半期毎の完成工事高および完成工事総利益(率)の推移【連結】【単体】



9.販売費及び一般管理費、営業利益および経常利益の推移【連結】



10.貸借対照表① 資産【連結】

【連結貸借対照表】(資産)

(単位: 億円)

	A.2023/3期			B.2024/3期			B-A		
	連 結	単 体	子会社等	連 結	単 体	子会社等	連 結	単 体	子会社等
現金預金	410	186	224	701	392	308	291	206	85
受取手形・完成工事未収入金等	2,255	1,911	343	2,665	2,288	378	411	376	35
未成工事支出金	104	92	13	85	74	11	▲ 20	▲ 18	▲ 2
未収入金	192	179	13	221	216	5	29	37	▲ 7
その他	23	14	9	23	14	10	0	▲ 1	1
貸倒引当金	▲ 1	▲ 0	▲ 0	▲ 1	▲ 0	▲ 0	▲ 0	▲ 0	▲ 0
流動資産合計	2,983	2,382	601	3,695	2,983	712	712	601	111
建物及び構築物	97	57	40	98	58	39	1	2	▲ 1
土地	171	141	30	179	149	30	8	8	0
その他	26	12	13	21	9	12	▲ 4	▲ 3	▲ 2
有形固定資産合計	293	210	83	298	217	81	5	8	▲ 3
無形固定資産合計	15	14	1	16	14	2	1	0	1
投資有価証券・関係会社株式	341	374	▲ 33	486	517	▲ 31	145	143	2
長期貸付金	3	3	0	69	67	1	66	64	1
繰延税金資産	69	55	14	35	23	13	▲ 34	▲ 33	▲ 1
その他	64	7	57	76	8	68	12	1	11
貸倒引当金	▲ 2	-	▲ 2	▲ 2	▲ 0	▲ 2	▲ 0	▲ 0	▲ 0
投資等合計	476	440	36	664	615	49	188	175	13
固定資産合計	784	663	121	978	846	131	194	183	11
資産合計	3,767	3,045	721	4,672	3,829	843	906	784	122

10.貸借対照表② 負債・純資産【連結】

【連結貸借対照表】(負債・純資産) (単位: 億円)

	A.2023/3期			B.2024/3期			B-A		
	連 結	単 体	子会社等	連 結	単 体	子会社等	連 結	単 体	子会社等
支払手形・工事未払金・電子記録債務	1,104	836	269	1,296	975	321	192	139	53
短期借入金	39	57	▲ 18	109	107	2	70	50	20
コマーシャル・ペーパー	-	-	-	150	150	-	150	150	-
未払法人税等	8	2	6	34	18	16	27	16	10
未成工事受入金	128	108	20	231	218	13	103	111	▲ 7
預り金	260	241	19	367	349	18	106	108	▲ 1
工事損失引当金	10	10	0	38	38	0	28	28	0
賞与引当金	41	27	13	41	27	14	0	▲ 0	1
その他	119	105	14	168	140	27	49	36	13
流動負債合計	1,709	1,386	324	2,435	2,023	412	725	637	88
長期借入金	183	183	-	265	265	-	82	82	-
退職給付に係る負債/退職給付引当金	167	141	26	164	140	25	▲ 3	▲ 1	▲ 2
その他	9	5	3	8	6	2	▲ 0	1	▲ 1
固定負債合計	359	329	30	438	411	27	79	82	▲ 3
負債合計	2,068	1,715	353	2,872	2,433	439	804	719	86
株主資本	1,641	1,286	356	1,647	1,262	386	6	▲ 24	30
その他の包括利益累計額	57	45	13	153	134	19	95	89	6
純資産合計	1,699	1,330	368	1,800	1,396	405	102	65	36
負債及び純資産合計	3,767	3,045	721	4,672	3,829	843	906	784	122

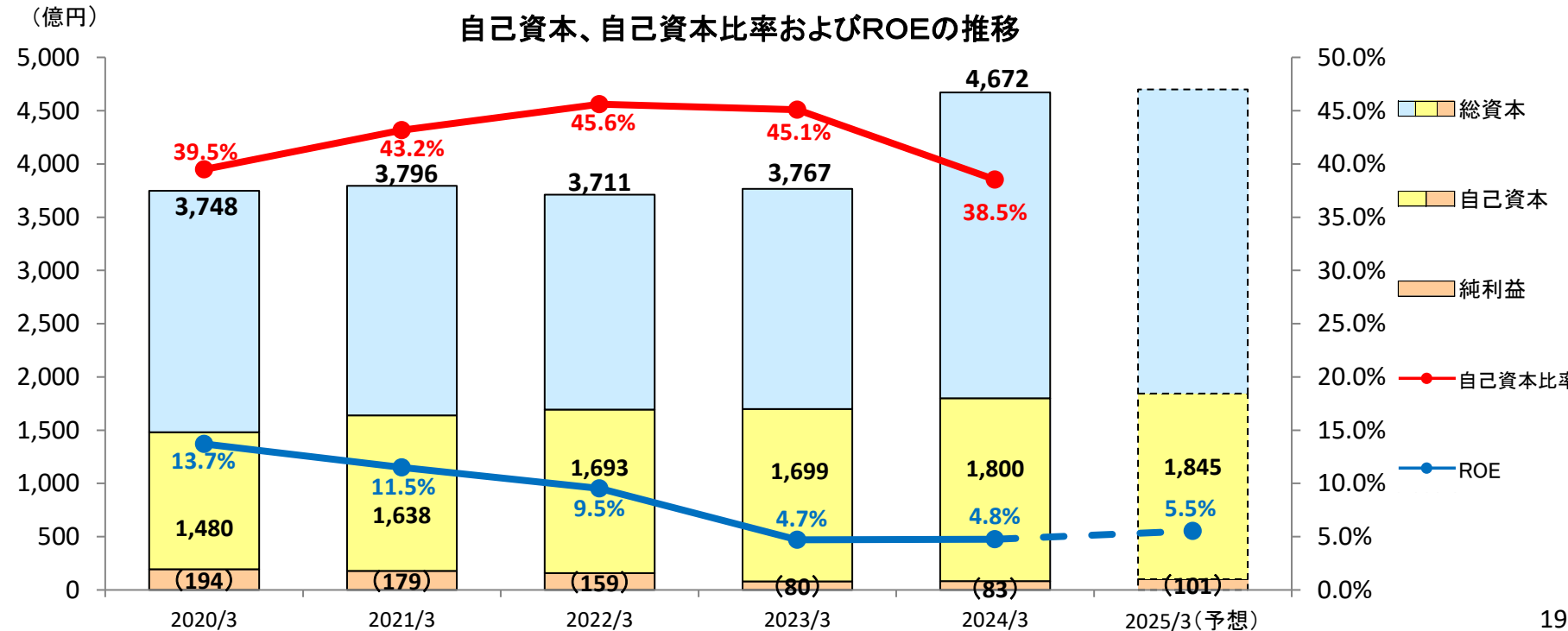
(自己資本比率) 45.1% 43.7% 51.0% 38.5% 36.4% 48.0% -6.6% -7.3% -3.0%

11.自己資本、自己資本比率およびROE【連結】

- 工事の大型化による立替費用の増加により、資金調達のための有利子負債が増加し、自己資本比率は6.6ポイント減
- ROEは前年同水準の4.8%にとどまる

自己資本、自己資本比率およびROEの状況 (単位: 億円)

	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3 (予想)
自己資本	1,480	1,638	1,693	1,699	1,800	1,845
総資本	3,748	3,796	3,711	3,767	4,672	—
自己資本比率	39.5%	43.2%	45.6%	45.1%	38.5%	—
親会社株主に帰属する当期純利益	194	179	159	80	83	101
ROE(自己資本利益率)	13.7%	11.5%	9.5%	4.7%	4.8%	5.5%



12. 株主還元【連結】

- 安定配当の観点から配当額は130円/株とし、当期配当性向は67.6%
- 自己株式取得とあわせ、総還元性向は91.6%

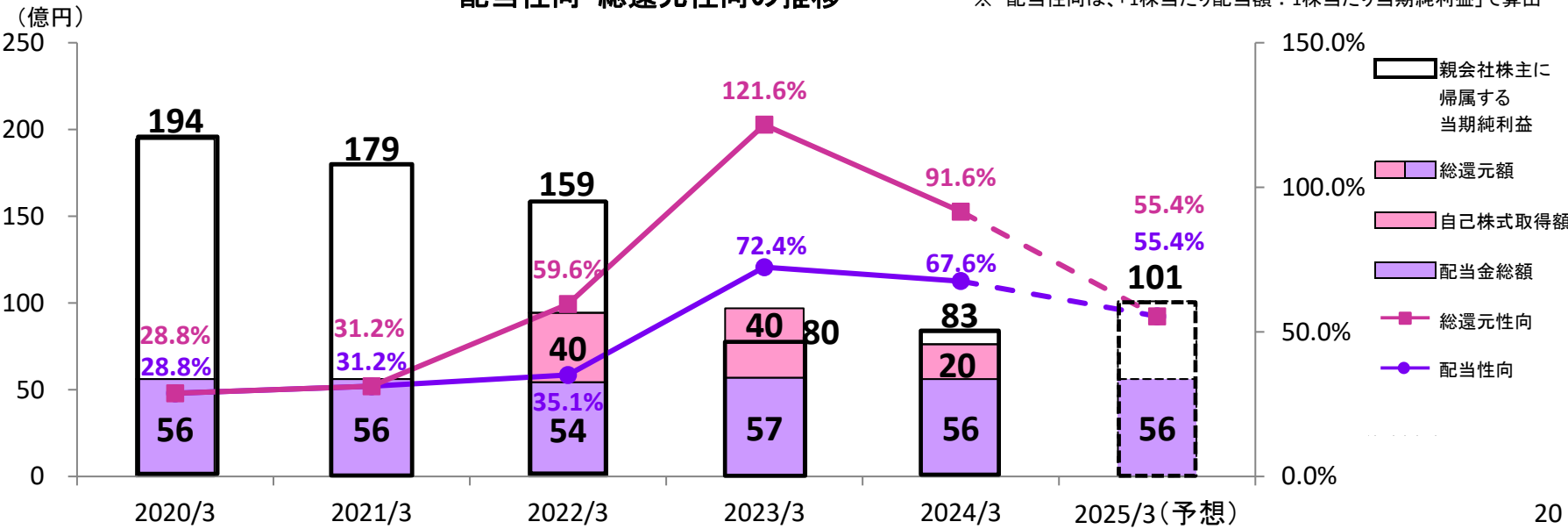
配当金の状況

(単位:億円)

	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3(予想)
発行済株式数	46,805,660株	46,805,660株	45,411,660株	43,900,360株	43,285,560株	43,285,560株
自己株式数	▲45,563株	▲52,116株	▲58,169株	▲62,644株	▲69,781株	▲69,781株
1株当たり配当額	120.00円	120.00円	120.00円	130.00円	130.00円	130.00円
配当金総額	56	56	54	57	56	56
親会社株主に帰属する当期純利益	194	179	159	80	83	101
1株当たり当期純利益	417.35円	384.69円	342.13円	179.64円	192.36円	234.84円
配当性向	28.8%	31.2%	35.1%	72.4%	67.6%	55.4%
自己株式取得	—	—	40	40	20	—
総還元額	—	—	94	97	76	—
総還元性向	28.8%	31.2%	59.6%	121.6%	91.6%	55.4%

配当性向・総還元性向の推移

※ 配当性向は、「1株当たり配当額÷1株当たり当期純利益」で算出



13.有利子負債【連結】

・ 有利子負債の増加により、D/Eレシオは上昇

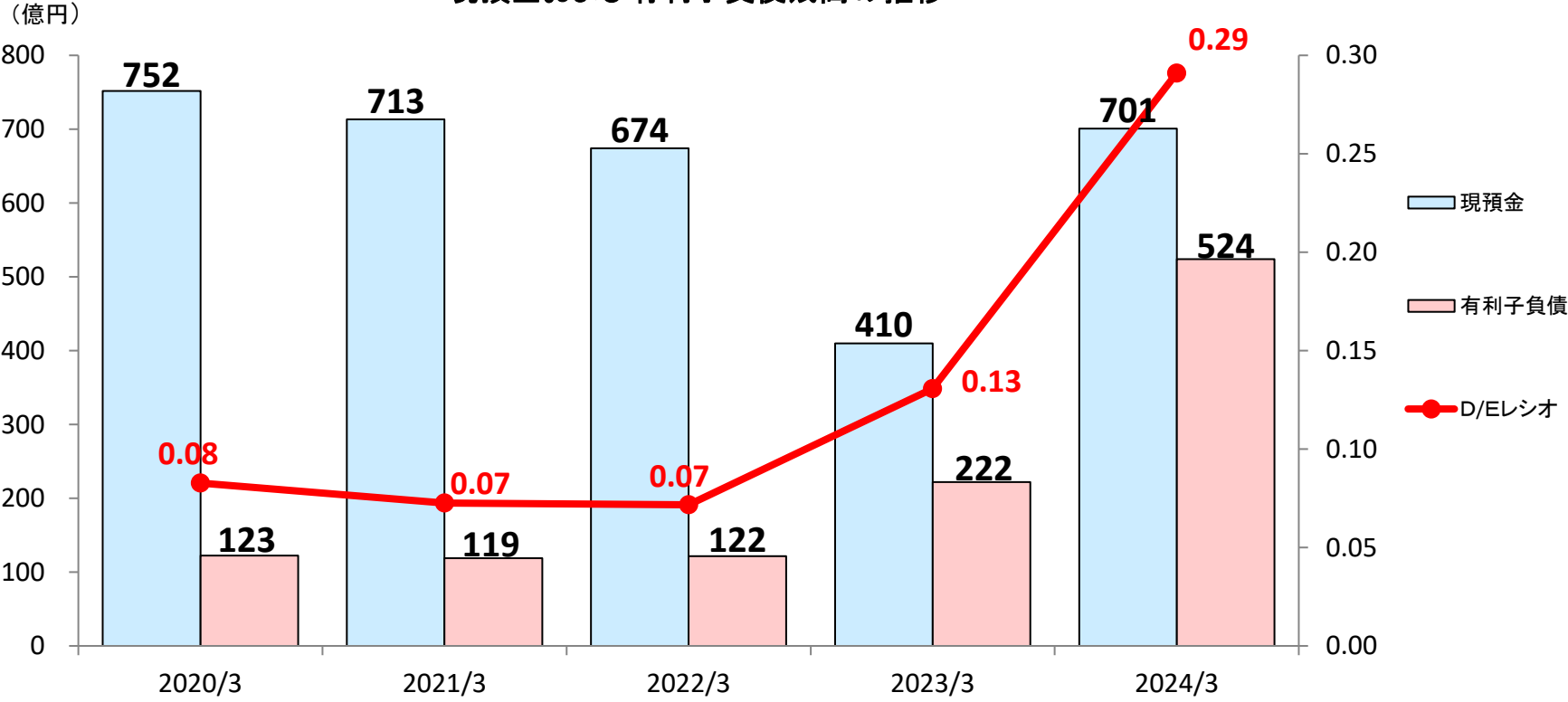
有利子負債の推移

(単位: 億円)

	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3
有利子負債残高	123	119	122	222	524
自己資本	1,480	1,638	1,693	1,699	1,800
D/Eレシオ	0.08	0.07	0.07	0.13	0.29

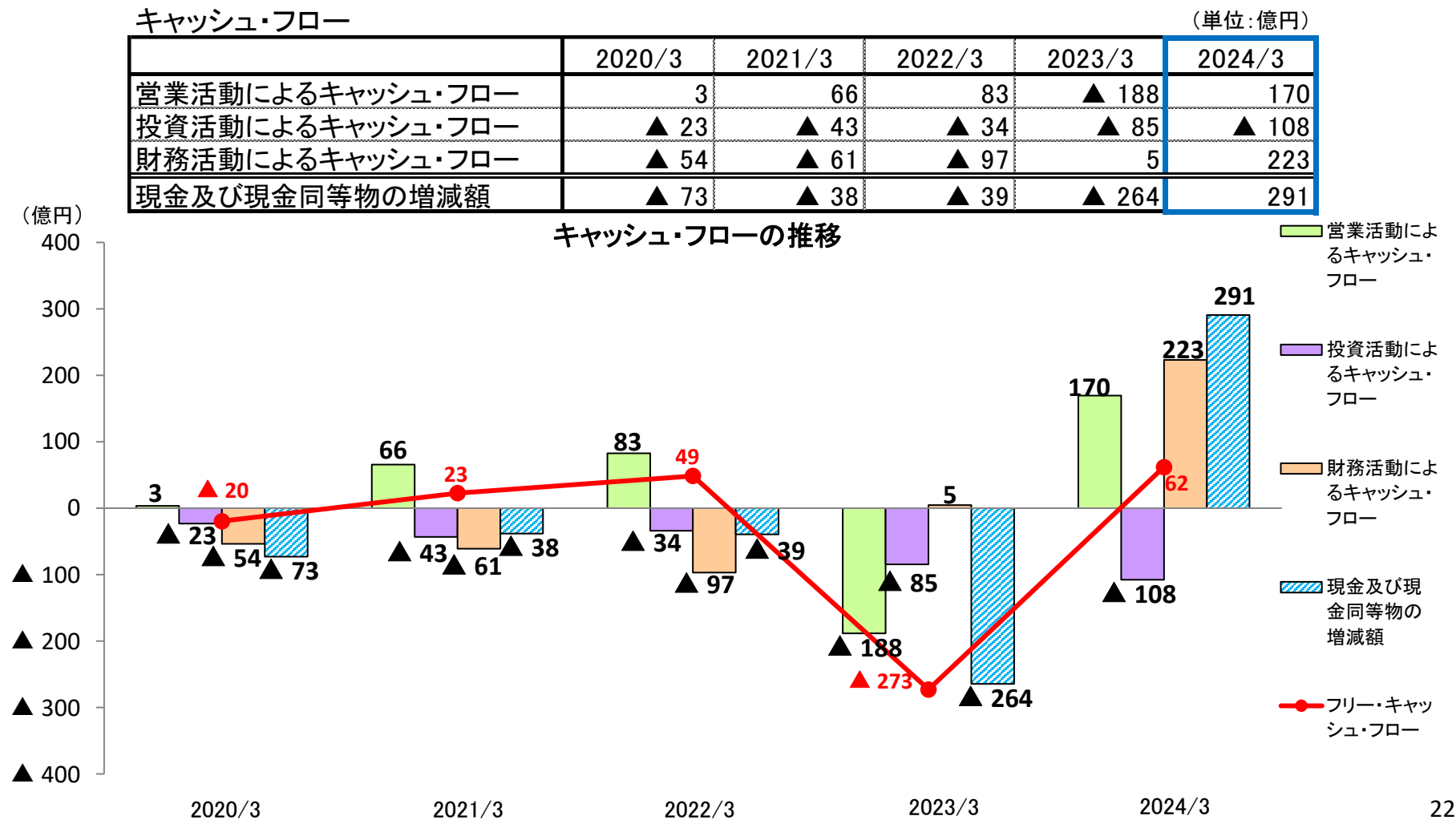
※D/Eレシオ
有利子負債÷自己資本

現預金および有利子負債残高の推移



14.キャッシュ・フロー【連結】

- 営業CFは大型工事の未成工事受入金や預り金の増加等によりプラス、投資CFは固定資産の取得等によりマイナス、財務CFは有利子負債の増加によりプラスとなり、全体で291億円のプラス



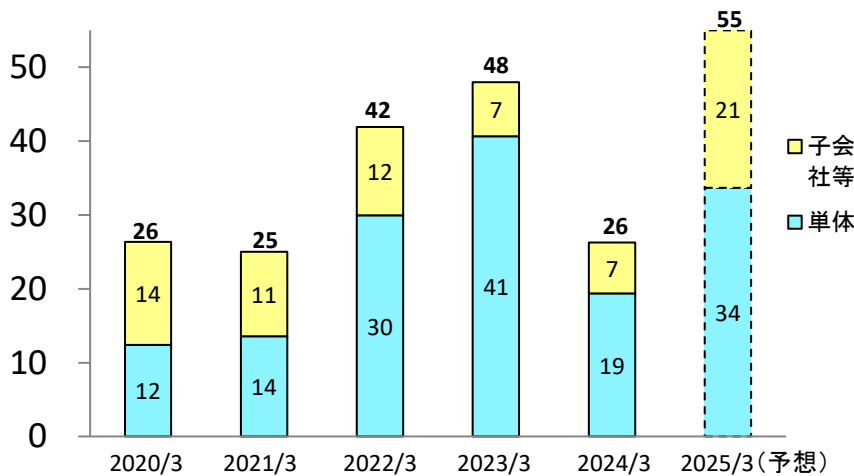
15.設備投資、減価償却費、研究開発費の推移【連結】

設備投資等の状況(連結) (単位: 億円)

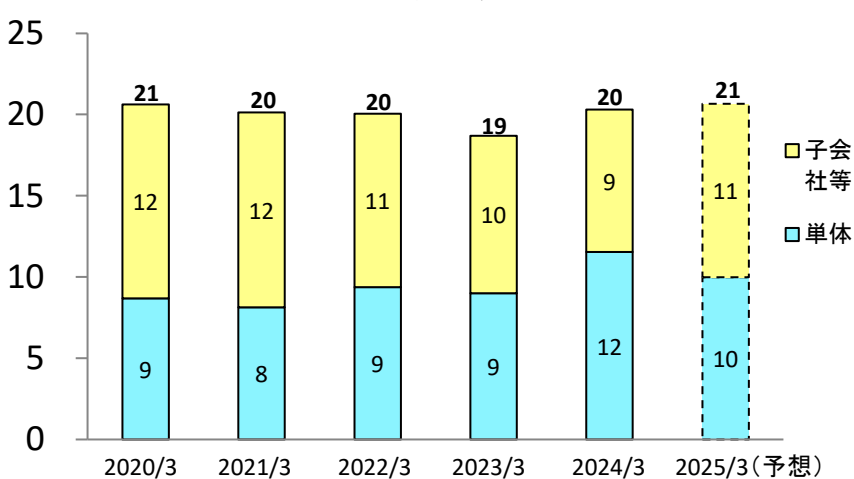
	2020/3	2021/3	2022/3
設備投資	26	25	42
減価償却費	21	20	20
研究開発費	26	27	27

	2023/3	2024/3	2025/3(予想)
設備投資	48	26	55
減価償却費	19	20	21
研究開発費	28	31	34

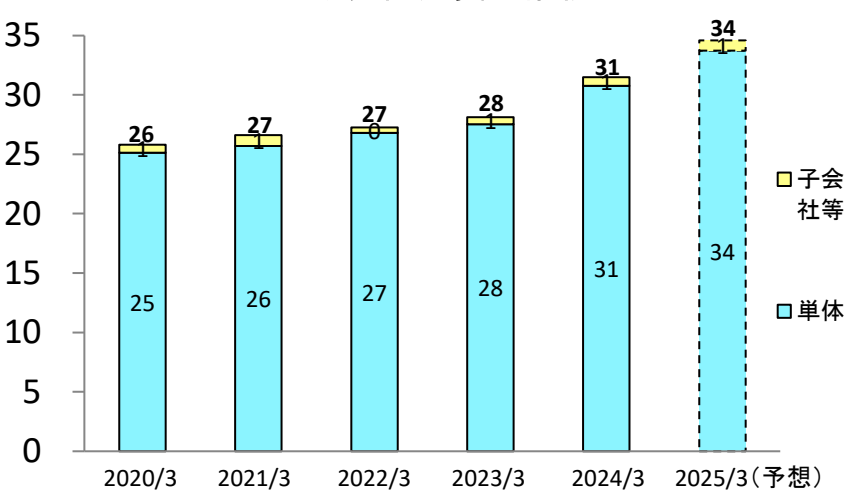
(億円) 設備投資の推移



(億円) 減価償却費の推移



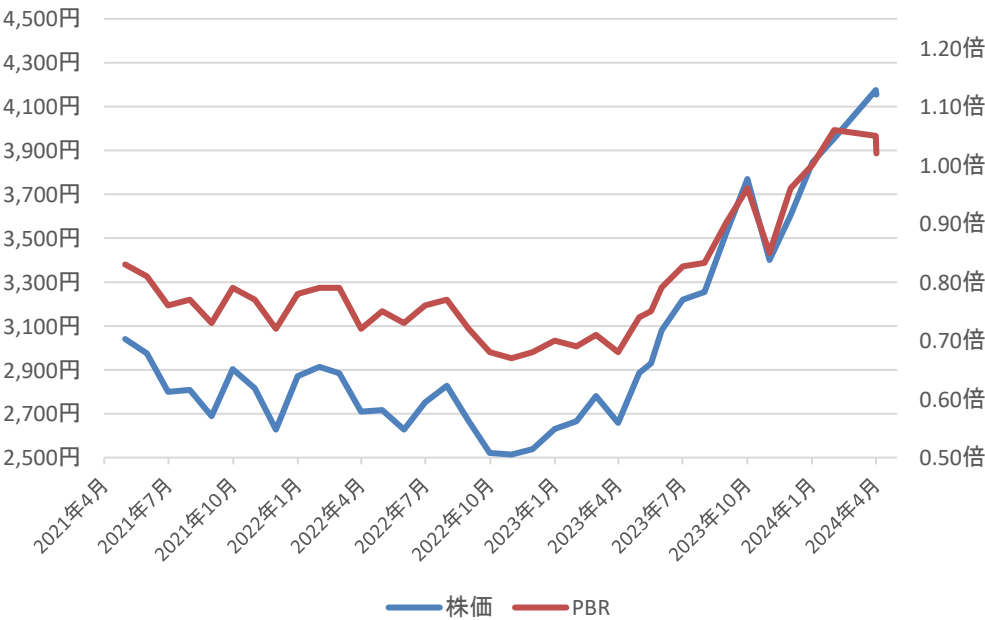
(億円) 研究開発費の推移



16. 企業価値向上に向けた取組み(中期経営計画2021～2023)

- ✓株主資本コスト：6%程度を前提とする。
- ✓利益配分：適正かつ安定的に利益還元していくことを基本方針とする。
- ✓自己株式取得：100億円規模（実施済）
- ✓資本効率：ROE12%以上（中期経営計画2021～2023）

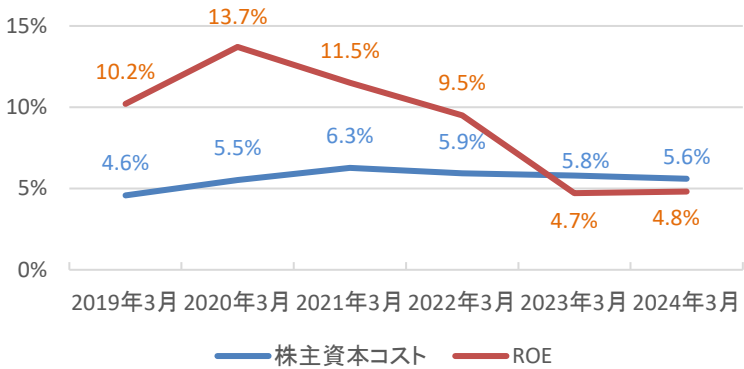
<株価・PBRの推移>



<主な財務指標の推移（連結）>

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	億円	4,252	4,035	4,432
経常利益	億円	237	122	130
配当性向	%	35.1%	72.4%	67.6%
自己株式取得	億円	40	40	20
総還元性向	%	59.6%	121.6%	91.6%
ROE	%	9.5%	4.7%	4.8%

<株主資本コスト・ROEの推移>



17. 中期経営計画(2024～2026)における株主還元と投資計画

*2023～2025年度の決算に係る配当額
計画最終年度(2026年度)の配当は含まず

株主還元

- 企業価値向上に向け、財務健全性を維持しつつ資本効率の最適化を目指します(自己資本比率45%程度)。
- 株主還元については、適正かつ安定的に利益還元していくことを基本方針とします。配当性向40%を目安とし、事業環境の変化や各事業戦略・投資の進捗に応じて、自己株式の取得を含め機動的に追加還元を検討します。

株主還元：180億円規模*

配当性向

40 %
目途

適正かつ安定的に利益還元していくことを基本方針とする

自己資本比率

45 %
程度

「財務健全性」と「資本効率」の両立

投資計画

- 期間中に400億円規模の周辺事業への投資と90億円規模の設備投資を計画
- これまでの周辺事業への投資リターンが期間中に一部発現
- 2024年度から経営会議体として「投資戦略委員会」(委員長:社長)を設置
外部アドバイザーを委員として招き入れ、指導や助言を受けながら
全社的な投資戦略を検討・策定・モニタリング
- 経営基盤の充実に向けた投資も拡充

外部アドバイザー

佐山 展生 Nobuo Sayama

インテグラル株式会社代表取締役パートナー
スカイマーク株式会社代表取締役会長
一橋大学大学院経営管理研究科教授
京都大学院総合生存学館特任教授などを歴任

2024年3月/インテグラル株式会社パートナー(現任)
2024年4月/京都大学経営管理大学院特命教授(現任)



25/3期～27/3期

↑
計画期間
↓

周辺事業への投資額

400億円

計画期間中 計上収益*

40億円

周辺事業への投資 400億円

不動産開発事業
250億円

再生可能
エネルギー事業
100億円

その他
50億円

+

設備投資

90億円

- 不動産開発事業: 30億円
- その他: 10億円

● その他経営基盤への投資
(研究開発・人財・DX等) 210億円

28/3期～36/3期

長期構想実現のため計画期間以降も投資を継続し、
2035年度までに「年間収益130億円規模」を目指す

*累計の投資に対し、期間中に計上される収益

18.住友林業との協業 ～中大規模木造関連の主な実績～

「ウッドデザイン賞2023」2件受賞

当社が共同開発した部材「KS木質座屈拘束ブレース」と施工した施設「H'O芝公園」が「ウッドデザイン賞2023」を受賞しました。
(一社)日本ウッドデザイン協会が主催するウッドデザイン賞は木の良さや価値をデザインの力で再構築することを目的に、優れた建築・空間や製品、活動や仕組み、研究等を募集・評価し、表彰する顕彰制度です。木を使うことによって社会課題の解決を目指す活動を「ウッドデザイン」と定義しています。



KS木質座屈拘束ブレース



H'O 芝公園

中大規模木造建築の実績

熊谷組 × 住友林業 × = with TREE

本提携のメインターゲットである中大規模木造建築事業では、2021年3月に両社協業の中大規模木造建築ブランド「with TREE」を立ち上げ、住友林業との共同企業体組成や資材調達協力により、事務所ビルのH'Oシリーズ、公共施設等複数の協業案件を受注するなど実績が積み上がってきています。
2024年4月29日には、初めて住友林業と共同企業体で施工した「木NINARU BLDG.(キニナルビルディング)」(旧名称：仮称KAGAプロジェクト/札幌市:地下1階地上10階建ての耐火木質ビル)が開業しました。



木NINARU BLDG.
木質ハイブリッド集成材
を使用したフロア(10F)

工事名	発注者	構造・階数	用途	住友林業との協業内容
(仮称)H'O外苑前新築工事	野村不動産(株)	RC造/W造・7階塔1階	事務所	木造材料を調達
(仮称)H'O芝公園新築工事	ウッドデザイン賞 野村不動産(株)	S造/W造・13階	事務所	木造材料を調達
ゆづくしSalon一の坊 清流館客室改修工事	(株)一の坊	SRC造・7階/2階	宿泊	JV、住友林業ホームテック協力
KAGAプロジェクト新築工事	JV初組成 (株)BeppoCorporation	S造/SRC造・10階/1階	事務所	JV、木造材料を調達
大川荘 月見亭 香草改修工事	大川荘	SRC造・7階/1階	宿泊	住友林業ホームテック協力
2025年大阪万国博覧会パビリオン建設	当期受注 玉山デジタルテック(株)	S造	博覧会建物	営業協力
県庁第二別館新築工事	当期受注 愛媛県	S造・11階/1階	庁舎・議会棟	ZEB・CLT耐震壁
みどりが丘小学校分離新設校建設工事	当期受注 八千代市	RC造/W造・3階	校舎・体育館	JV
霧島温泉天テラス改修工事	当期受注 ふじりリゾート(株)	RC造/W造	宿泊	住友林業ホームテック協力

19.住友林業との協業 ～取組成果と中期経営計画(2024～2026)の目標～

過去6年間(2018.4～2024.3)の取組成果

中期経営計画(2024～2026)の目標

木化・緑化関連建設事業



累計受注高

970億円 *1

「with TREE」ブランドの立ち上げ

ウッドデザイン賞

⇒JV組成や資材調達協力により、事務所ビルのH'IOシリーズ、公共施設等複数の木造の協業案件を受注

累計売上高

710億円

CO2算定ソフト「One Click LCA」を導入

⇒環境負荷低減効果を見える化して協業案件を受注

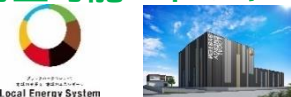
完成工事総利益

44億円

緑化の付加価値提案

⇒住宅、大学施設、事務所ビル(PREXシリーズ)等の環境緑化案件を協業で受注

再生可能エネルギー事業



累計投資額

3億円 *2

「ブラックバークペレット(BBP)」の製造・販売

⇒事業運営会社【ローカルエナジーシステム株】2023年5月に設立。最初の製造拠点を「愛媛県西条市」に置き、ペレット製造工場建設に着手

米国・豪州・欧州でのESG配慮型不動産・木造開発案件の組成

⇒住友林業／クレセント社が組成するESG配慮型不動産ファンドへの投資

米国ダラスにおけるESG配慮型木造賃貸オフィス開発事業に参画

累計投資額

70億円 *2

東南アジア(インドネシア・ベトナム)

開発案件への共同参画

⇒インドネシアにおける商業複合施設開発事業に参画

海外事業



共同研究開発



「KS木質座屈拘束ブレース」の共同開発

⇒ウッドデザイン賞2023受賞

ウッドデザイン賞

木材需要拡大のための高層木造建築物の汎用型設計技術の開発(PRISM)

「林業機械システムの自動化による省力化の研究(林業機械システムの月面での運用)」

受注高

1,200億円

●中大規模木造建築「with TREE」と環境緑化建築の2本柱の更なる強化

売上高

1,000億円

●顧客のニーズに合わせた各種CO2削減技術の提案強化

完成工事総利益

90億円 *3

●緑化提案による大型案件の受注拡大、環境不動産への取組・受注促進

投資額

100億円規模

●「ブラックバークペレット事業」の拠点整備・製造・販売事業の確立(2026年度より製造・販売を開始予定)

●再生可能エネルギー事業への参画

計上収益

30億円 *4程度

●海外不動産開発事業への継続投資、国内不動産開発事業の開拓

●成長著しい東南アジアおよび環境意識の高い欧米における収益案件・開発案件への参画など不動産ファンド投資

●住友林業、NTT都市開発、現地大手不動産開発会社Kim Oanh Groupとの協業で、ベトナム国ホアラン・タウンシップ開発事業をスタート

●「KS木質座屈拘束ブレース」ほか各種開発技術の物件への採用

●木造木質技術開発を含む脱炭素社会の実現に資する技術開発の推進

*1 設計段階から両社が関与し、当社グループ各社の受注に寄与した案件を計上

*2 両社が参画するプロジェクトへの当社の出資額

*3 利益率9%以上を目指す

*4 累計の投資に対し、期間中に計上される収益

20.住友林業との協業 ～中期経営計画(2024～2026)での取組み～

方針

- ・ 中大規模木造建築事業においては、協業で積み上げてきた知見や提案力および木造建築に関する住友林業のブランド力を活かし、更なる受注拡大を目指します。
- ・ 住友林業が得意とする海外不動産開発事業への継続投資、並びに国内における環境配慮型不動産事業への参画を検討し、事業領域の拡大を目指します。

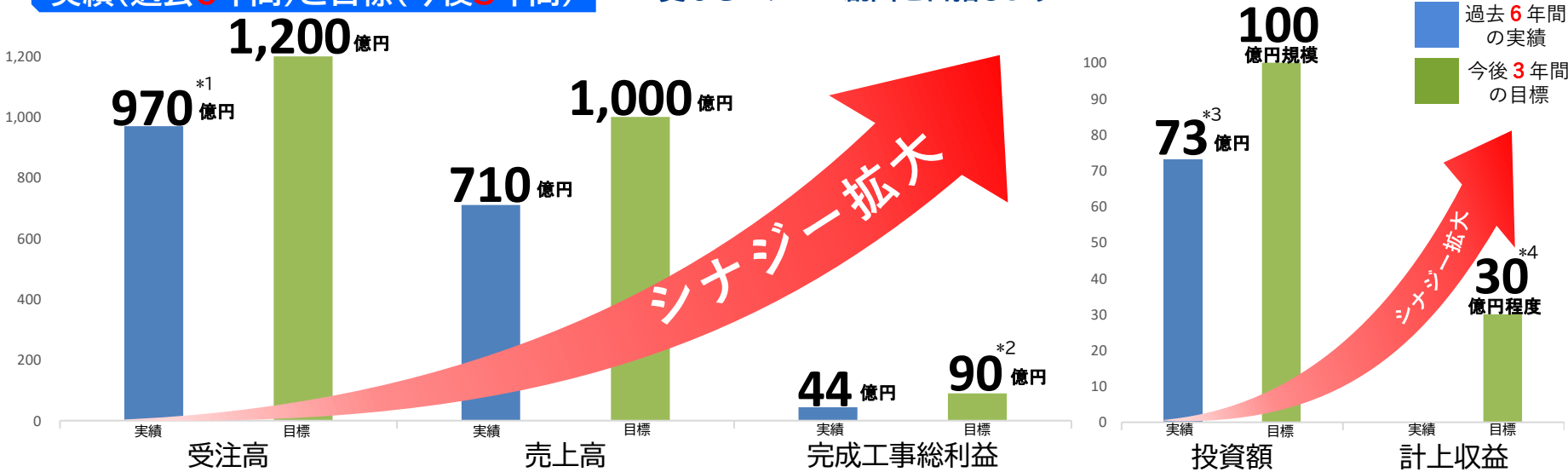
- 建設事業
- 投資
- 技術開発

- ・ 中大規模木造建築「with TREE」と環境緑化建築の2本柱の更なる強化
- ・ 顧客のニーズに合わせた各種CO₂削減技術の提案強化
- ・ 海外不動産開発事業への継続投資、国内不動産開発事業の開拓
- ・ 「ブラックバークペレット事業」の拠点整備、製造・販売事業の確立
- ・ 海外再生可能エネルギー事業への参画
- ・ 木造木質技術開発を含む脱炭素社会の実現に資する技術開発の推進



実績(過去6年間)と目標(今後3年間)

～ 更なるシナジー創出を目指します ～



*1 設計段階から両社が関与し、当社グループ各社の受注に寄与した案件を計上 *2 利益率9%以上を目指す *3 両社が参画するプロジェクトへの当社の出資額 *4 累計の投資に対し、期間中に計上される収益

21.ESG取組方針

- 熊谷組グループはサステナビリティの基本方針を「ESG取組方針」として掲げています。

- 1

熊谷組は、環境(Environment)・社会(Social)・企業統治(Governance)の視点から解決すべき重要課題(マテリアリティ)を特定し、持続可能な事業活動を追求していく。
- 2

熊谷組は、グループが保有する技術・経験・ノウハウを活用して新たな価値を創造し、SDGsに代表される社会課題の解決に貢献する事業活動を展開していく。
- 3

熊谷組は、事業活動を通じてステークホルダーとのコミュニケーションによる信頼関係の構築に努め、企業価値の向上を目指していく。

重要課題(マテリアリティ)の改定

以下の理由により、2024年5月に重要課題(マテリアリティ)の改定と現時点において経営に影響がある個別課題の見直しを行いました。

1. 重要課題・個別課題を検討した当時(2018年度)からの外部環境の変化

激甚化する自然災害や新型コロナウイルス感染症のパンデミック、ロシアのウクライナ侵攻など特定の地域が抱える政治的・軍事的な緊張の高まりが当社グループの事業に対して、大きな影響を与えました。

2. 社会からの要請への対応

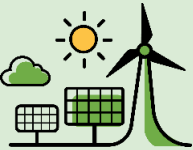
品質の確保や人権の尊重といった項目が掲げられておらず、社会からの期待に十分に答えられていない可能性があります。社会からの要請にこたえるため、この度の改定においては従業員、投資家、お客様、有識者といったステークホルダーの意見を伺いました。

22.ESG取組方針～重要課題・個別課題～

	重要課題(マテリアリティ)	個別課題	関連するSDGs
E 	気候変動リスクへの対応	①カーボンニュートラルの達成 ②再生可能エネルギー事業の強化	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 13 気候変動に 具体的な対策を 14 海の豊かさを まもり 15 陸の豊かさも まもり
	環境に配慮した事業の推進	③ゼロエミッションの達成 ④木造建築事業の強化 ⑤環境配慮型技術の開発 ⑥ネイチャーポジティブの実現	
S 	多様な人財が能力を発揮できる ウェルビーイングの実現	①人財の確保と投資 ②技術の継承 ③DXの推進 ④ワーク・ライフ・バランスの実現 ⑤ダイバーシティの推進 ⑥建設業の担い手確保 ⑦ウェルネスな環境の実現 ⑧労働災害防止	3 すべての人に 健康と福祉を 4 質の高い教育を みんなに 5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 11 住み続けられる まちづくりを 17 パートナーシップで 目標を達成しよう
	持続可能なコミュニティの実現	⑨品質の確保と誠実なもののづくりの推進 ⑩魅力あるまちづくり ⑪レジリエントな社会インフラの構築 ⑫社会課題解決に繋がる取組み ⑬自然災害など有事への取組み	
G 	コーポレートガバナンスの強化	①コンプライアンスの徹底 ②リスクマネジメントの強化 ③取締役会の実効性向上 ④人権の尊重	12 つくる責任 つかう責任 16 平和と公正を すべての人に 17 パートナーシップで 目標を達成しよう
	マルチステークホルダーとの 関係強化	⑤CSの向上 ⑥サプライチェーンマネジメントの強化 ⑦情報発信力の強化 ⑧投資家との積極的対話	

22.重要課題・個別課題 指標と目標 <環境>

E



重要課題(マテリアリティ)	個別課題	関連するSDGs
気候変動リスクへの対応	①カーボンニュートラルの達成 ②再生可能エネルギー事業の強化	   
環境に配慮した事業の推進	③ゼロエミッションの達成 ④木造建築事業の強化 ⑤環境配慮型技術の開発 ⑥ネイチャーポジティブの実現	

事業における取組み・具体的行動		指標	中期経営計画期間中の目標	
①	CO2排出量の削減活動	Scope1+2の削減率 Scope3の削減率 (2019年度基準)	▶	Scope1+2:42%削減 Scope3:25%削減 (2029年度目標)
②	再生可能エネルギー事業の推進強化	再生可能エネルギー事業の実施・取組 み件数	▶	国内10件以上 海外 4件以上
③	混合廃棄物の削減活動	総混廃排出率	▶	2%以下(各年度)
④	中大規模木造建築事業の取組み、受注拡大	国内受注件数 海外出資件数	▶	国内3件以上 海外3件以上
⑤	カーボンニュートラルに向けた研究の強化	技術開発取組み件数(新規着手件数)	▶	6件以上
	環境配慮型建築(ZEB等)への取組み	環境関連提案件数	▶	6件以上
⑥	生態系の回復に関する事業 品質環境マネジメントシステムの運用と改善	脱炭素バイオマス燃料開発、 販売事業の拠点整備件数 施工中の重大な環境事故件数	▶	2件以上 0件

22.重要課題・個別課題 指標と目標 <社会>

S



重要な人財が能力を発揮できる
ウェルビーイングの実現

持続可能なコミュニティの実現

重要課題(マテリアリティ)

個別課題

関連するSDGs

①人財の確保と投資
②技術の継承
③DXの推進
④ワーク・ライフ・バランスの実現

⑤ダイバーシティの推進
⑥建設業の担い手確保
⑦ウェルネスな環境の実現
⑧労働災害防止

⑨品質の確保と誠実な
ものづくりの推進
⑩魅力あるまちづくり

⑪レジリエントな社会インフラの構築
⑫社会課題解決に繋がる取組み
⑬自然災害など有事への取組み

3 持続可能な
消費生活

4 質の高い教育を
みんなに

5 ジェンダー平等を
推進する

8 働きがいも
経済成長も

9 産業と地域資源の
統合的な開発

11 住み続けられる
まちづくりを

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

事業における取組み・具体的行動		指標	中期経営計画期間中の目標
① 新卒採用活動 従業員エンゲージメントの向上	新卒採用者数 エンゲージメントレーティング	▶	(各年度の検討) BB
② 国家資格の取得支援	一級土木施工管理技士取得率 一級建築施工管理技士保有率 一級建築士保有率	▶	90%以上(各年度) 1%以上/年UP 1%以上/年UP
③ ICTの標準化による現場管理の効率化 基幹システムの刷新	新規現場導入率 システム開発進捗率	▶	100% 100%
④ 仕事とプライベートの両立等 業務の効率化・平準化への取組み	休日取得 時間外労働時間数	▶	4週8休(作業所)(各年度) 30時間以下(各年度)
⑤ 女性活躍推進行動計画	新任管理職に占める女性の割合 子の出生に伴う男性の休暇取得率	▶	7%以上(各年度) 70%以上(各年度)
⑥ 現場公開による担い手確保	現場・職場見学会の開催	▶	100件(各年度)
⑦ 従業員の健康管理	二次健康診断受診率	▶	100%
⑧ 安全管理水準の向上	度数率	▶	0.5以下(各年度)
⑨ 品質環境マネジメントシステムの運用と改善	施工中の重大な品質事故件数	▶	0件
⑩ 不動産事業の拡大 市街地再開発の取組み	収益不動産・事業参画件数 取組み件数(内定～施工中件数)	▶	国内3件以上／海外1件以上 6件以上
⑪ アジア諸国の社会課題の解決 多様な自然災害に対応するインフラ整備	インフラ整備案件受注件数 取組み件数	▶	2件以上 20件以上
⑫ 社会の将来を見据えた技術の開発 新規事業創出 スマイルプロジェクトの推進	技術開発取組み件数(新規着手件数) 取組み件数 参加者数(延べ人数)	▶	6件以上 事業化2件以上 参加者数の増加(前年度比)
⑬ 自然災害など有事に関する技術開発	開発件数	▶	2件以上

22.重要課題・個別課題 指標と目標 <ガバナンス>

G



重要課題(マテリアリティ)

個別課題

コーポレートガバナンスの強化

①コンプライアンスの徹底
②リスクマネジメントの強化

③取締役会の実効性向上
④人権の尊重

⑤CSの向上
⑥サプライチェーンマネジメントの強化

⑦情報発信力の強化
⑧投資家との積極的対話

関連するSDGs



事業における取組み・具体的行動		指標	中期経営計画期間中の目標
①	社内外の法令違反防止体制の構築	重大な法令違反発生件数	0件
②	大規模災害発生時の従業員安否確認	訓練時の安否確認システム応答率	100%
③	取締役会の実効性の評価と改善	外部専門家を含めた評価	評価の向上
④	人権リスクの防止・軽減に向けた取組み	人権デューデリジェンスの実施	対象企業の拡大
⑤	CS向上に向けた取組みの推進	顧客満足度	100%
⑥	「調達方針」「調達方針ガイドライン」の遵守	不正な取引の件数	0件
⑦	適時適切かつ積極的な情報開示	ESG評価機関等による評価	評価の向上
⑧	機関投資家等との対話の積極的な実施	ミーティングや決算説明会への参加者数	10%増(前年度比)

23.外部からの評価・イニシアチブへの参画

環境



国連グローバル・コンパクト
署名・加入



「気候関連財務情報開示タスクフォース
(TCFD)」
提言への賛同



「SBTイニシアチブ」
認定



CDP気候変動部門
「Aリスト」選定



CDPサプライヤー・エンゲージメント評価
「サプライヤー・エンゲージメント・リー
ダー」選定



国際イニシアチブ「RE100」加盟



「エコ・ファースト企業」
認定



「日本気候リーダーズ・パートナーシップ
(JCLP)」
賛助会員として加盟



「ZEBプランナー」
登録



「ZEHデベロッパー」
登録



S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数
構成銘柄に選定

ダイバーシティ



「えるぼし」認定
最高位3段目を取得



「健康経営優良法人2024」
(大規模法人部門)



「なでしこ銘柄」
選定



「新・ダイバーシティ経営企業100選」
選定



「FTSE Blossom Japan
Sector Relative Index」
構成銘柄に選定



経済産業省
「DX認定事業者」選定



LGBTQへの取組みを評価する
PRIDE指標の「シルバー」受賞



「子育てサポート企業」認定
(くるみん認定)

高める、つくる、そして、支える。



熊谷組

(将来事象に関する注意事項)

本資料に記載されている戦略や計画、数値目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、経営環境の変化等によって変動する可能性がありますことをご承知おきください。